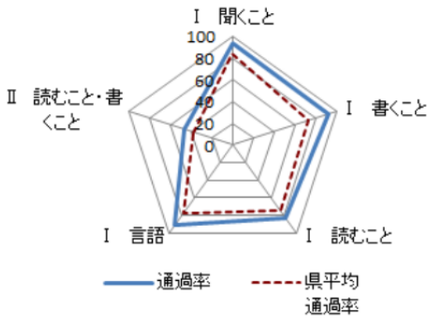
指導方法等の改善計画について　〔 国 語 〕

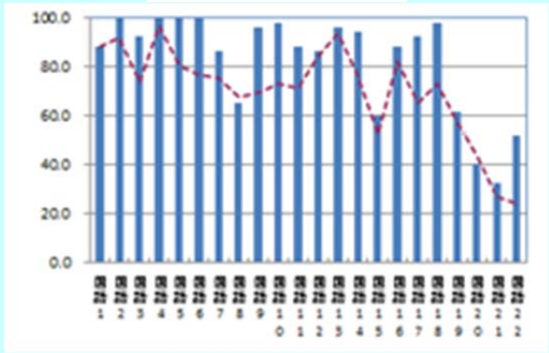
土堂　　小学校

「基礎・基本」定着状況調査　本年度通過率

領域別平均通過率(国語)　本校　82.6　%　県　70.1%

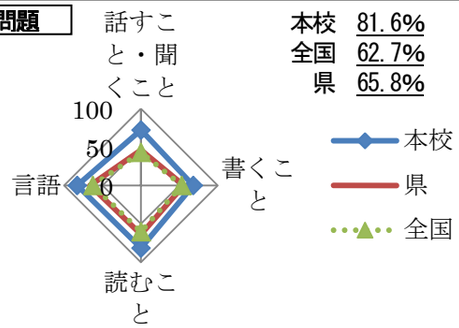


設問ごとの平均通過率(国語)



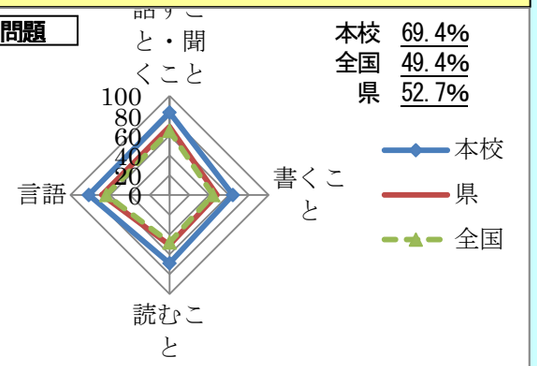
全国学力・学習状況調査　本年度正答率

A 問題



本校　81.6%
全国　62.7%
県　65.8%

B 問題



本校　69.4%
全国　49.4%
県　52.7%

重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査　◇全国学力・学習状況調査

◎複数の資料から読み取ったことを基に理由付けをして書くことに課題がある。（通過率 27.1%）
〇主な誤答は以下の通りである。
「体力を向上させるための理由を具体的に記述していない。(42.3%)」
「『一週間の運動時間を増やす』という条件を考えて記述していない。(23.1%)」
無答率（15.4%）であった。

◇複数の内容を関係付けた上で，自分の考えを具体的に書くことに課題がある。（通過率 40.7%）
〇主な誤答は，以下の通りである。
「三つの事例の一部だけを理由として記述している。(37%)」
「条件全てを満たして記述していない。(13%)」無答率（7.4%）であった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

◎「資料を読んで考えたことを書こう」（９月実施）の学習において，必要な情報の取り出し方を指導する。
「活動したことを伝える文章を書こう」（１月実施）では，相手に伝える書き方を指導する。

◇「資料を活用して書こう」（９月実施）の学習において，目的に合わせて資料を選び，どのような資料なのか資料についての説明を加えて書き表す指導をする。
「ふるさとの良さをしょうかいしよう」（１月実施）の学習において，紹介したいもの良さが効果的に伝わるような構成を考えた書き方を指導する。

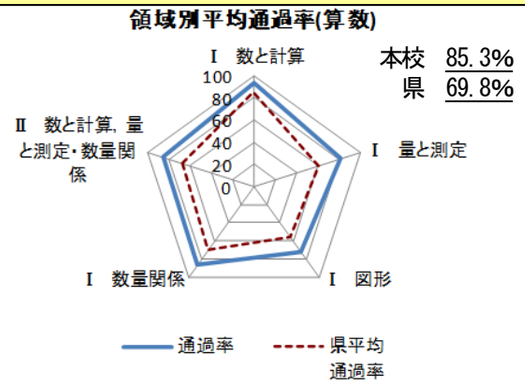
◎「基礎・基本」	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	５年生 小テスト (課題となる問題)			４年生・５年生 H25「基礎・基本」		４年生 「学力調査」	
目標値	60%			70%　85%		65%	
実施後数値							

◇全国学力	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	６年生 小テスト (課題となる問題)			５年生 H25「全国学力」		５年生 「学力調査」	
目標値	50%			60%		65%	
実施後数値							

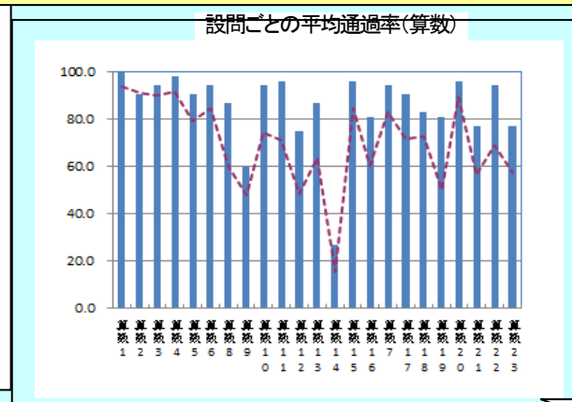
指導方法等の改善計画について　〔 算 数 〕

土堂　　小学校

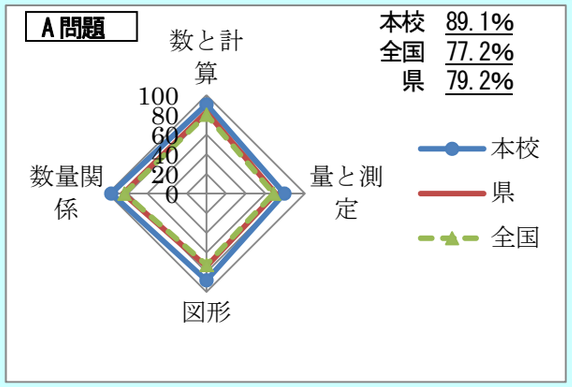
「基礎・基本」定着状況調査　本年度通過率



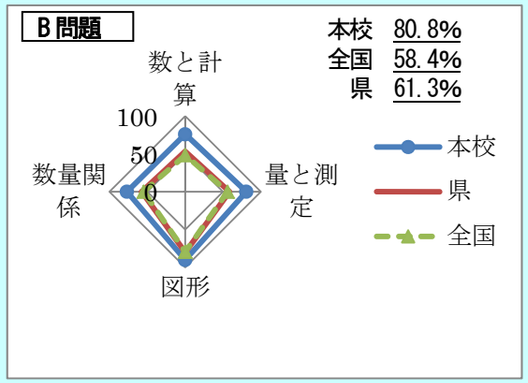
本校　85.3%
県　69.8%



全国学力・学習状況調査　本年度正答率



本校　89.1%
全国　77.2%
県　79.2%



本校　80.8%
全国　58.4%
県　61.3%

重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査　◇全国学力・学習状況調査

◎図形の定義と性質を正しく理解することに課題がある。(通過率 15.4%)
　〇主な誤答は，以下の通りである。
　「正方形の定義について『辺の長さが等しい』『直角』のどちらかを回答している。(48.1%)」
　「『ぴったり重なる』など感覚的なことを理由として回答している。(16.4%)」であった。

◇面積や体積について量感をもって理解することに課題がある。(通過率 61.1%)
　〇主な誤答は，以下の通りである。
　「１ａと同じ面積になる正方形の一辺の長さを１００ｍととらえている。(36%)」であった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

◎「正多角形と円」（１月実施）の学習において，正多角形の定義と性質を正しく指導すると共に，既習の図形の定義と性質の復習を行ったり，定義を比較させたりして理解を深める。
◎図形の定義をもとに作図させたり，示された図形から定義や性質を答えさせたり，言葉で表現したものを実際に作図させ，その図形になるかどうかを考えさせる活動を通して，図形の定義を理解させる等授業の工夫を行う。
◇「量と単位」（１月実施）の学習において，長さ，面積，体積，重さなどの単位について，算数的活動を取り入れながら，量感をもって量の性質や単位の意味について理解する。
◇単位換算のプリント学習を繰り返し行う。

◎「基礎・基本」	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	５年生 小テスト (課題となる問題)			４年生・５年生 H25「基礎・基本」		４年生 「学力調査」	
目標値	60%			70%　85%		65%	
実施後数値							

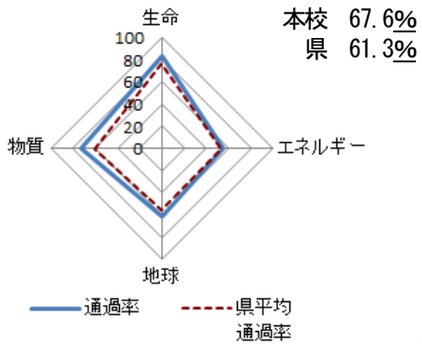
◇全国学力	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	６年生 小テスト (課題となる問題)			５年生 H25「全国学力」		５年生 「学力調査」	
目標値	50%			60%		65%	
実施後数値							

指導方法等の改善計画について　〔 理 科 〕

土堂　　小学校

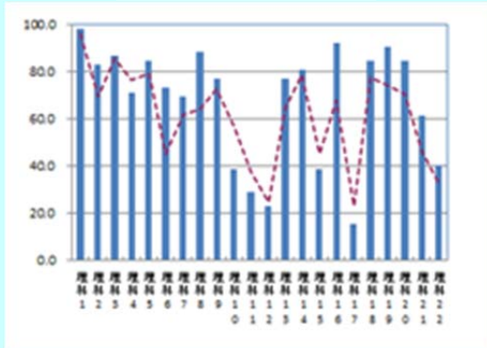
「基礎・基本」定着状況調査　本年度通過率

領域別平均通過率(理科)



本校　67.6%
県　61.3%

設問ごとの平均通過率(理科)



重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①水のすがたと空気の温度の関わりについて，生活体験を通して理解することに課題がある。(通過率23.0%)
〇主な誤答は，以下の通りである。
「『冷たくなったから』と記述している。(69.2%)」
空気中の水蒸気とカンが冷やされることの関係がとらえられていない。

◎②極の向きを考えて，直列つなぎの回路を正しく表現することに課題がある。(通過率24.8%)
〇主な誤答は，以下の通りである。
「回路を輪のように表しているが，＋極同士をつなげている。(57.7%)」
「直列の意味を考えて表していない。(7.7%)」であった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

◎①「物のとけ方」（１月実施）の学習において，水の姿と温度の関わりをイメージ図を使って説明させる学習活動を設定する。
プリント学習を繰り返し行う。

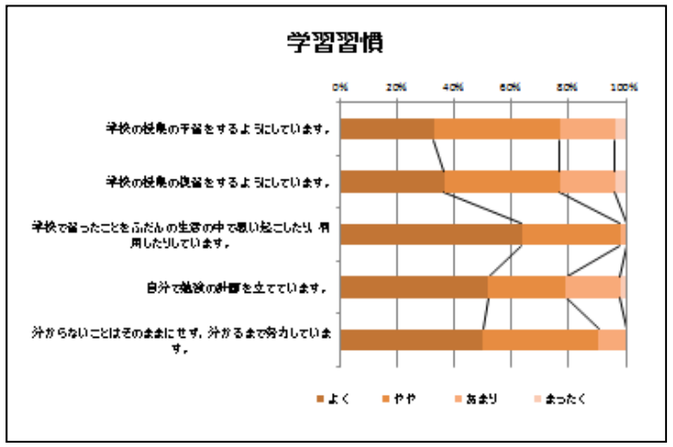
◎②「電流がうみ出す力」（２月実施）で，直列つなぎ，並列つなぎと電流との関わりを確認する。電池の数や向きを変えたときに，どのようなつなぎ方になるのか考えさせる等，考察の場面を設定し，思考を深める授業の工夫を行う。

◎「基礎・基本」①	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
学年・方法	５年生 小テスト (課題となる問題)			４年生・５年生 Ｈ２５「基礎・基本」			４年生・５年生 Ｈ２５「基礎・基本」
目標値	50%			50%　70%			70%　80%
実施後数値							

◎「基礎・基本」②	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
学年・方法	５年生 小テスト (課題となる問題)			４年生・５年生 Ｈ２５「基礎・基本」			４年生・５年生 Ｈ２５「基礎・基本」
目標値	50%			50%　70%			70%　80%
実施後数値							

２　質問紙調査　（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）　（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

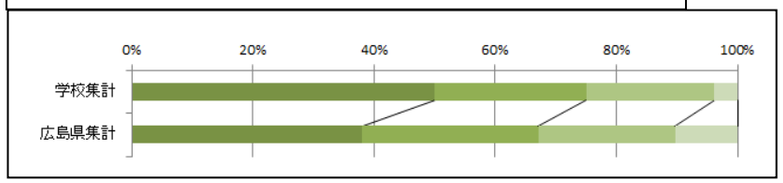
（１）生活・学習



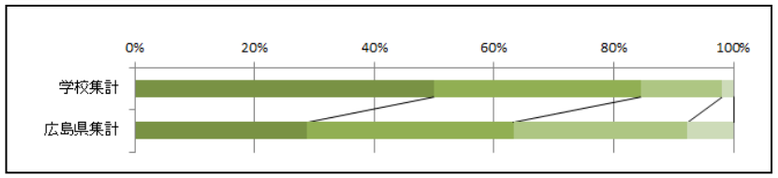
	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
基礎・基本	学校の授業の予習，復習をしている。（７７%）	本校で作成している「自主学習の手引き」を配布し，保護者啓発を行うと共に，自主学習に継続的に取り組ませる。	５	８０%	アンケート	２月		
全国	家で授業の予習，復習している。（予習５２%，復習６２%）	本校で作成している「自主学習の手引き配布し，保護者啓発を行うと共に，自主学習に継続的に取り組ませる。	６	７０%	アンケート	２月		

（２）教科

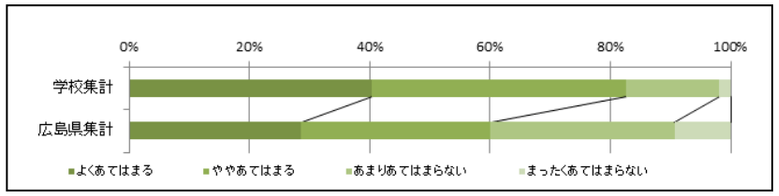
国語の授業では，分からない言葉や漢字は，辞書を使って調べています。



算数の授業はよく分かります。



理科の授業では，観察や実験を行うときは，その目的は何かを意識しています。



		児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
国語	基礎・基本	分からない言葉や漢字を，辞書を使って調べている。（７５%）	日々の学習の中で，日常的に辞書を引かせる。 ９月「辞書引き月間」で習慣化する。	５	９０%	アンケート	２月		
	全国	目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり，書いたりしている。（７７．８%）	９月「資料を活用して書こう」１月「ふるさとの良さをしょうかいしよう」の学習で資料を選んだり，効果的な伝え方を考えて書き表したりする学習を仕組む。	６	８５%	アンケート	２月		
算数	基礎・基本	算数の授業で理由をあげて説明している。（８４．６%）	理由をあげて考えをまとめる場を積極的に設ける。	５	８８%	アンケート	２月		
	全国	問題を解くときに，なぜこの式に表したのかという理由を考えている。（７５%）	立式したときに，なぜその式になるのかということをノートに記述させたり発表させたりする場を積極的に設ける。	６	８５%	アンケート	２月		
理科	基礎・基本	自分の考えをまわりの人に説明したり，発表したりしている。（８２．７%）	考察の場面において，ペアやグループなど形態を変えて説明する場を積極的に設ける。	５	８５%	アンケート	２月		